



## 2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数	
病院			一般病床	床
			療養病床	床
			[医療保険	床]
			[介護保険	床]
			精神病床	床
			感染症病床	床
			結核病床	床
診療所	西可児眼科クリニック	可児市帷子新町二丁目 7 2 番地	一般病床	床
			療養病床	床
			[医療保険	床]
			[介護保険	床]
介護老人 保健施設			入所定員	名
			通所定員	名

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第 4 2 条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

- (3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 3 年 9 月 1 0 日	令和 2 年度決算の決定
令和 4 年 7 月 2 2 日	令和 4 年度事業計画の決定
令和 4 年 7 月 2 8 日	役員の変更の決定

様式 26-3

法人名 可児市帷子新町二丁目7番地  
所在地 医療法人 西可児眼科クリニック

※医療法人整理番号

財 産 目 録  
(令和 4 年 7 月 31 日現在)

1. 資 産 額	629,301 千円
2. 負 債 額	27,060 千円
3. 純 資 産 額	602,240 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		440,366
B 固 定 資 産		188,934
C 資 産 合 計 (A + B)		629,301
D 負 債 合 計		27,060
E 純 資 産 (C - D)		602,240

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物	(□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 2 6 - 1 - 4 (旧法：診療所を開設する医療法人)

法人名 可児市帷子新町二丁目 7 2 番地  
所在地 医療法人 西可児眼科クリニック

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表  
(令和 4 年 7 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	440,366	I 流 動 負 債	27,060
II 固 定 資 産	188,934	II 固 定 負 債	0
1 有 形 固 定 資 産	133,088	負 債 合 計	27,060
2 無 形 固 定 資 産	1,118	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	54,727	科 目	金 額
		I 資 本 金	10,000
		II 資 本 剰 余 金	0
		III 利 益 剰 余 金	592,240
		IV 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		純 資 産 合 計	602,240
資 産 合 計	629,301	負 債 ・ 純 資 産 合 計	629,301

様式 2 6 - 2 - 2 (診療所を開設する医療法人)

法人名可児市帷子新町二丁目72番地

※医療法人整理番号

所在地医療法人西可児眼科クリニック

損 益 計 算 書  
(自 令和 3 年 8 月 1 日 至 令和 4 年 7 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	187,683
2 事業費用	277,087
本来業務事業損失	△ 89,404
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	0
II 事業外収益	124,603
III 事業外費用	0
経常利益	35,199
IV 特別利益	0
V 特別損失	0
税引前当期純損失	35,199
法人税等	1,641
当期純損失	33,558

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

監事監査報告書

医療法人 西可児眼科クリニック  
理事長 横山 燿平 殿

私は、医療法人西可児眼科クリニックの令和 3 会計年度（令和 3 年8月1日から令和 4 年7月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 4 年 9 月 11 日

医療法人 西可児眼科クリ  
監事 三品 雅義

